



何度も書き直したメール。結局、送信ボタンを押せな  
いまま、夜が更けていく。言葉は時として、想いとは裏  
腹に相手を傷つけてしまうことがあるから怖い。ため息  
と一緒に出てきたのは、苦い自己嫌悪。

ふと、机の隅で控えめに光る紫色の石に目が留まった。  
誠実さ、心の平和。そんな石言葉を思い出す。そつと指  
で触れると、不思議と心が落ち着いていくのを感じた。  
焦らなくていい。ちゃんと私の言葉で、正直な気持ち  
を伝えればいいんだ。石の静かな輝きが、迷っていた私の  
背中をそつと押してくれたような気がした。もう少しだ  
け、言葉を探してみよう。きつと、伝わるはず  
だから。

「アメジスト（紫水晶）」

